

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

法人名	株式会社チャイルド・ピース
施設名	小鳩ナーサリースクール浜離宮
施設所在地	港区浜松町1-3-1 浜離宮ザタワー203

1. 活動のテーマ

<テーマ>

やさい・くだもの (栽培・収穫 1-4歳)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
「やさい・くだもの」は、給食や日々の生活の中で子どもにとって身近で親しみやすく、関心を持ちやすいテーマである。都心に位置する本園では、栽培などの実体験が少ないからこそ、五感を使った体験を通して感性を育むことを大切にしている。また、少人数かつ異年齢保育という環境を生かし、年上の子どもと年下の子どもが互いに関わりながら共に活動することで、自然なつながりが生まれ、言葉の育ちや気づき、発見の共有へとつながっていく。自分で選び、育て、食べるという一連の体験は、主体性の育ちにもつながる。こうした探求心を育むことをねらいとして、本テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

野菜栽培収穫<ミニトマト、ナス、さつまいも、オクラ、にんじん、大根、レタス>

収穫体験<10月芋掘り遠足、2月いちご狩り>

毎月手作りおやつ等食育体験。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

テラスにベジトラグを設置し、野菜の苗や種を用意した。水やりや収穫の際に使用する踏み台や、芋掘りの際に着用するスモックを準備した。また、野菜の様子を観察できるように虫眼鏡も用意した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・土に触れながら苗植えや種まきを体験する。
- ・テラスで遊ぶ中で野菜の生長の様子を見たり、水やりをしたりする。
- ・野菜を収穫し、葉や茎、とれたての野菜に触れる。
- ・収穫した野菜が使われた給食やおやつを食べ、味や食感を楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

野菜の成長を見ながら、「大きくなったね」「花が咲いたね」などと保育者や友だちと会話する姿が見られた。収穫した日の給食では、「今日のナスはどこ?」と探したり、カットされたオクラを「きらきら」と星に見立てたりするなど、食材に関心に向ける様子があった。芋ほり遠足では、数日前から「バスでお芋掘りいくなだね」と話し、楽しみにする姿も見られた。当日は広い畑で大きなさつまいもを収穫し、嬉しそうに保護者や保育者に見せる様子があった。また、土に触れることも楽しんでた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

自分たちで収穫した野菜が使われた給食の際には、食事に関心に向けながら食べる姿が見られた。野菜や果物が育ち実をつける過程を身近で経験することが、食材への関心につながっていると感じた。また、思うように収穫できない経験から、植物を育てる難しさにも触れる機会となった。栽培から収穫、食べることまでの一連の体験が、食べ物への関心を広げることにつながっていると考えられた。